



## RC-112

### 鋼板表面分析

## 表面炭素分析装置

### デュアルゾーン・ファーンレス

2つの加熱部で2種類の炭素を抽出



分析対象：自動車用鋼板、銅管、その他金属  
 分析感度：0.001mg/dm<sup>2</sup> 又は 0.01mg/ft<sup>2</sup>  
 表示：mg/dm<sup>2</sup> (dm<sup>2</sup>=square decimeter <10cm平方>)  
 mg/ft<sup>2</sup> (ft<sup>2</sup>=square foot <30.5cm平方>)  
 試料サイズ：直径（又は幅）最大26mm、長さ最大100mm  
 加熱炉温度：Front zone 350℃～450℃（通常400℃）  
 Back zone 550℃～650℃（通常600℃）  
 分析時間：各ゾーンそれぞれ200秒  
 マイクロプロセッサ  
 自己診断機構  
 プリンター内蔵

# LECO®

世界の分析分野と共に歩んできたLECO社は、独自のマイクロコンピューター応用技術と分析のノウハウを結合することで、誰れにでも安心して操作ができてしかも信頼性の高い分析装置を次々に生み出してきております。

### 金属中トータル分析

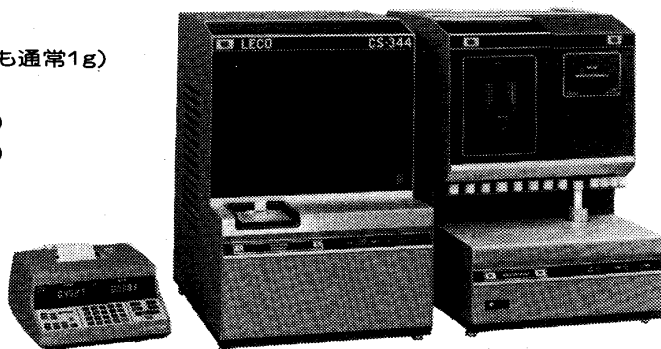
## 炭素・硫黄同時分析装置

## CS-344 ルツボ自動装填機構付

## CS-244

### 全自動でスピード分析

分析対象：金属全般、鉱石、無機物  
 試料形状：ブロック、棒状、粒状、粉体等（いずれも通常1g）  
 分析時間：通常 30秒 ショートサイクル 25秒  
 分析範囲：〈炭素〉0～3.5%（試料重量1gの場合）  
 〈硫黄〉0～0.35%（ ” ” ）  
 分析感度：0.00001%（0.1ppm）  
 マイクロプロセッサ  
 自己診断機構  
 電子天秤及びプリンター内蔵



上記のほか、金属中水素・炭素・硫黄・酸素・窒素の各単能分析装置、遊離炭素分析装置、拡散性/非拡散性水素分析装置、及び、金属顕微鏡観察用試料調整機器など各種取りそろえております。

日本総代理店



定評ある  
品質とサービス

## 日本アナリスト株式会社

本社 〒141 東京都品川区西五反田3-8-8(町原ビル) ☎(03) 493-7281(代)  
 大阪支店 〒560 大阪府豊中市岡上の町2-6-7(丹羽ビル) ☎(06) 849-7466  
 九州営業所 〒805 北九州市八幡東区中央3-6-16(新八幡ビル) ☎(093) 662-6155

カタログ贈呈

（会費・購読料は  
含む）